

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の2】

受験番号兼申請番号	医・歯・技
-----------	-------

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 年 月 日

症例番号	
------	--

- 1) 医療機関;
- 2) カルテ番号;
- 3) 年齢;(初診時) 26歳
- 4) 性別;男性
- 5) 職業;会社員
- 6) 主訴・主症状;睡眠中のいびきと無呼吸症状があり日中傾眠がある。
- 7) 診断;睡眠時無呼吸症候群(軽症)
- 8) 既往歴;特記事項なし
- 9) 家族歴;父親(55歳)が睡眠時無呼吸症候群でCPAP加療中。
- 10) 現病歴;20歳頃より日中傾眠あり、22歳頃より起床時の口腔乾燥出現。最近、交際相手より睡眠中の無呼吸を指摘され紹介医を受診し、PSG施行され口腔内装置作製のため平成18年2月27日に当院受診した。
- 11) 心身の一般的所見;  
身長178cm 体重65.0kg BMI 20.4 血压  
顔 貌:左右対称で下顎後退・小顎症はない。  
Epworth Sleepiness Scale:14点
- 12) 主要な臨床検査所見;  
口 腔:開口制限なく、歯列不正・高口蓋といった異常は認めない。巨舌(・)  
鼻咽腔:鼻閉(・) 口蓋扁桃肥大(・) 軟口蓋過長(・)
- 13) ポリソムノグラフィー(PSG)所見;  
PSG診断(年月日)表1、図2  
\*睡眠構築;総睡眠時間(TST):450.0分、睡眠潜時:11.0分  
Arousal Indexが14.9/hで、これらの多くは無呼吸・低呼吸に伴う覚醒反応だった。深睡眠(st.3+4)8%、浅睡眠(st.1)7%だった。また、REM潜時は88.5分で、st.REMは26%だった。  
\*睡眠呼吸障害;AHIは16.3/h(AI 14.0/h、HI 2.4/h)と軽症から中等度のOSASだった。とくにAHI(REM):43.3だった。
- 14) セファログラム所見:表2、図1  
上下顎とも平均的だが、上下顎ともやや後退している。
- 15) 治療方法・治療経過  
2/27:口腔内装置印象・咬合位採得(ジョージゲージにて前方限界位)  
3/6:上下分離型調節式装置(MAP)装着、装着時にいびき音(・)の下顎位に設定  
3/13:睡眠中のいびき消失あり、前方移動量を1.0mm下げる。  
3/20:前方移動量下げてもいびき出現なく、口腔内装置の違和感も少なくなり朝まで装着可能となり、効果判定のため紹介医にPSG依頼する。  
3/29:表1のようにPSG(with OA)にてOSAS改善。日中傾眠も軽減しESS:7点に減少した。  
4/24:ほぼ毎日口腔内装置を使用している。今後の経過観察の必要性について指導し、咬合異常等出現しないか3ヶ月後に再来指示した。

16) 口腔内装置装着による PSG とセファログラムの比較 :

PSGでは、表1、図3のように、口腔内装置装着により AHI は 16.3 1.6 /h と、無呼吸の改善がみられた。ただ、まだ OA に慣れていないのか、睡眠段階の改善はみられず、Arousal Index も 14.9 13.6 /h とあまり変わらなかった。

セファログラムでは、表2、図1のように、口腔内装置装着による変化は、あまりみられなかった。

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。

西暦 年 月 日

学会認定医、学会認定歯科医、学会認定検査技師

(学会認定証の番号 : )

所属診療科の長 (該当する事項を 印で囲って下さい)

医療機関と診療科名および職名

氏名

印

審査員のコメント

審査結果 : 合格、保留、不合格

担当審査員の氏名

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表1 PSG 所見

項目		初診時 P S G 診断	口腔内装置装着による P S G 診断
睡眠 の 状 態	総睡眠時間 ( T S T )	450.0 min	440.0 min
	睡眠段階 W	36.0 min ( 8 % )	24.2 min ( 27 % )
	睡眠段階 1	31.5 min ( 7 % )	26.5 min ( 4 % )
	睡眠段階 2	229.5 min ( 51 % )	254.5 min ( 38 % )
	睡眠段階 3	27.0 min ( 6 % )	20.3 min ( 15 % )
	睡眠段階 4	9.0 min ( 2 % )	15.0 min ( 1 % )
	睡眠段階 R E M	117.0 min ( 26 % )	155.0 min ( 15 % )
	睡眠潜時	11.0 min	15.0 min
	R E M 潜時	88.5 min	210.5 min
	総覚醒指数 ( Arousal Index )	14.9 / h	13.6 / h
	無呼吸・低呼吸に伴う覚醒指数	11.5 / h	4.8 / h
	睡眠効率 ( TST/TIB ) × 100	95.5 %	90.4 %
	呼 吸 の 状 態	無呼吸指数	14.0 / h
低呼吸指数		2.4 / h	0.9 / h
無呼吸低呼吸指数		16.3 / h	1.6 / h
動脈血酸素飽和度の平均値		94 %	96 %
動脈血酸素飽和度の最低値		91 %	93 %
動脈血酸素飽和度の低下指数		15.5 / h	1.2 / h
そ の 他	不整脈の回数	なし	なし
	P L M 指数	0 / h	0 / h

【様式4の4】

表2 初診時・口腔内装着時のセファログラム分析結果

項目		初診時	口腔内装置装着時
骨格分析	SNA ( 81 °)	85°	85°
	SNB ( 78 °)	81°	83°
	ANB ( 3 °)	4°	2°
	FX ( 86 °)	85°	83°
	FD ( 86 °)	86°	86°
	MP ( 30 °)	34°	37 °
	LFH ( 49 °)	46°	49 °
	MA ( 25 °)	25 °	25 °
	TFH ( 64 °)	64 °	67 °
	McNamara-A ( 1mm)	- 3mm	- 3mm
	McNamara-Pog ( -6mm)	- 7mm	- 7mm
	MP-H ( 10mm)	24mm	11mm
気道分析	Upper-pharynx ( 20mm)	18mm	18mm
	Lowwer-pharynx (12mm)	11mm	11mm
	PNS-P (35mm)	41mm	37mm

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】

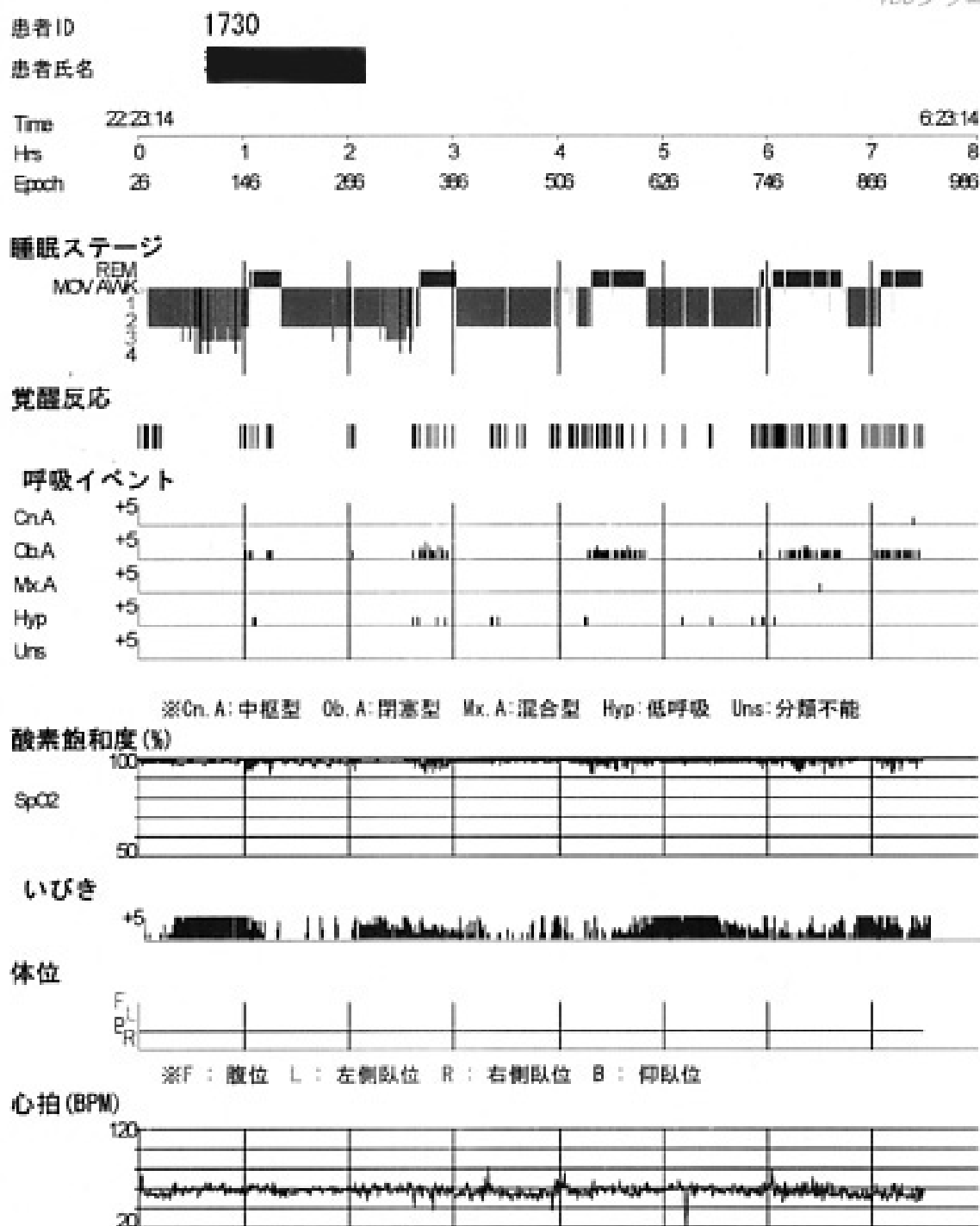
図1 セファログラムのトレース像

初診時（黒線）と口腔内装置装着時（赤線）の重ね合わせ



【様式4の4】

図2 初診時 PSG 所見



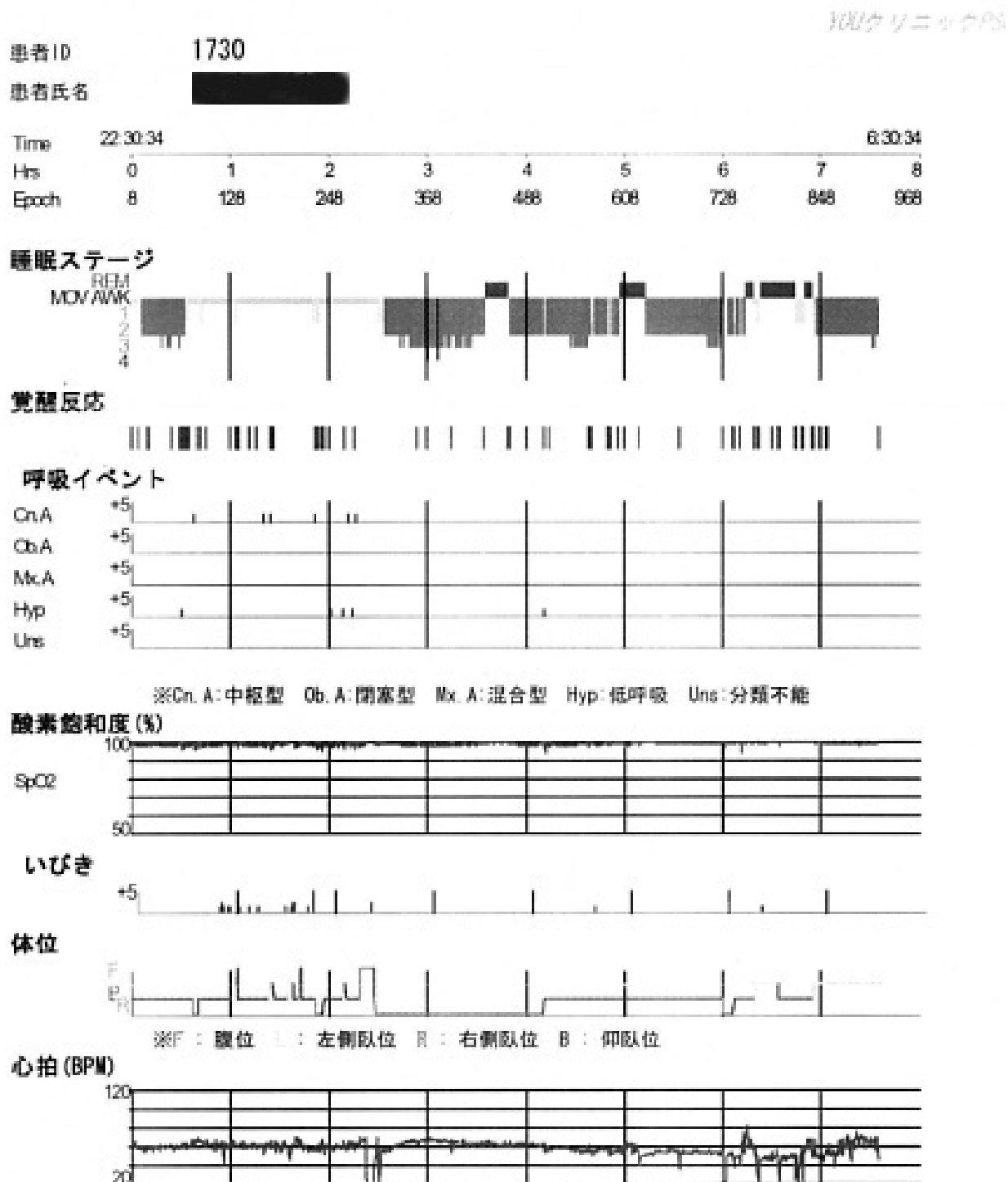
【 検査結果 】

無呼吸の合計回数は101回で、睡眠1時間当りの無呼吸の指数(AI)は14.0です。  
 低呼吸の合計回数は17回で、睡眠1時間当りの低呼吸の指数は(HI)は2.4です。  
 無呼吸と低呼吸との合計回数は118回で、睡眠1時間当りの指数(AHI)は16.3です。  
 無呼吸の内、最も長い無呼吸時間は62.8秒で、睡眠中酸素飽和度は91%まで低下しました。  
 覚醒反応の合計回数は108回で、睡眠1時間当りの指数は14.9です。

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】

図3 口腔内装置装着時 PSG 所見



【 検査結果 】

無呼吸の合計回数は4回で、睡眠1時間当りの無呼吸の指数(AI)は0.7です。  
 低呼吸の合計回数は5回で、睡眠1時間当りの低呼吸の指数(HI)は0.9です。  
 無呼吸と低呼吸との合計回数は9回で、睡眠1時間当りの指数(AHI)は1.6です。  
 無呼吸の内、最も長い無呼吸時間は32.4秒で、睡眠中酸素飽和度は93%まで低下しました。  
 覚醒反応の合計回数は76回で、睡眠1時間当りの指数は13.6です。